

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|---------------------------------------|---|------------------|--|-----|--------|---------|
| 31203 | 生涯学習概論 Theory of lifelong learning | 河合 龍二 | | | 2 | 選択 | 1・2前期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 生涯を通じての学習とその意義について、基本的な考え方について学ぶ科目である。生涯学習についての歴史や施策を知り、また社会教育施設（図書館・博物館・公民館）の役割について、具体的な実践事例などを踏まえながら考えていく。その上で、生涯学習の必要性・有用性を理解し、生涯学習社会を実現していくための理念と現実的課題について考える視座も身に付ける。（ディプロマ・ポリシー②③④⑥） | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 生涯学習の歴史や現状について理解する。 ② 生涯学習の意義や内容、方法について理解する。 ③ 図書館司書など専門資格取得のために必要な基礎的知識を身に付ける。 ④ 地域の状況に応じた地域生涯学習計画について理解し、参画のしかたを考える。 | | | | ① 生涯学習社会の発生や展開、現状について説明することができる。（ディプロマ・ポリシー②③④） ② 生涯学習社会の構築をめざす施策の基礎である教育論や法規について説明できる。（ディプロマ・ポリシー②③④） ③ 生涯学習や社会教育に関連する内容について、実践事例を発表し、レポートにまとめることができる。（ディプロマ・ポリシー⑥） ④ 地域の特性を活かしたまちづくりに自ら参画する方策を発表し、レポートにまとめることができる。（ディプロマ・ポリシー⑥） | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 生涯学習の実践事例や必要性などを図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 図書館司書など、将来希望する職に就くという目標や、出題された課題に向かって、取り組み続けることができる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | さまざまな情報を収集し比較分析することで、生涯学習社会における課題について、客観的に見極めることができる。 | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 生涯学習社会に必要な「生涯学習設計」について、実践的事例を意識しながら創造的かつ計画的に作成できる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 各種事例の情報収集、比較分析した上で、相手に分かりやすく、かつ納得できるような内容を、文章や発表で伝えることができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 他者の意見について内容の確認や質問をすることで、正確に理解することができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：毎回配付するプリントをテキストとする。 参考文献：講義中に随時紹介する。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 他科目との関連：図書館に関する科目 資格との関連：図書館司書 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 図書館を始めとする社会教育施設へ出向き、関心をもっておくとよい。 | | | | 図書館司書を目指す学生にふさわしい態度と意欲をもって受講すること。社会との結び付きが強い学問である。自らフィールドワークを進める気概をもちたい。グループワークでは「読み聞かせ」「お手紙まわし」「ポキャプラリーシート」等さまざまなしなかけを試すので、積極的に取り組もう。配付プリントや振り返りシートは、ポートフォリオとして各自保管しておくこと。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | | | | | |
|--------|--------------|-----------------------|-------|------|---------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | | | | | |
| | | | | ② | | | | | | | | |
| | | | | ③ | | | | | | | | |
| | | | | ④ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 10 | ① | ✓ | | | | | ・生涯学習の定義と歴史的な流れを理解している。第1～4週で扱った内容で、語句・用語について説明する問題とする。10点満点。 | |
| | | | | | ② | ✓ | | | | | | |
| | | | | | ③ | | | | | | | |
| | | | | | ④ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | レポート | | 30 | ① | | | | | | ・自分で調査し、分析や意見をまとめたレポートを提出できる。（表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性を評価する）20点満点。 ・毎回の振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足りないのかを記述する。それを蓄積し、常に学修の調整をしている。10点満点 | |
| | | | | | ② | | | | | | | |
| | | | | | ③ | ✓ | | | | | | |
| | | | | | ④ | ✓ | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 50 | ① | | | | | | ・個人あるいはチームで調査し、分析や意見をまとめ、発表することができる。（表現の仕方・説明の分かりやすさ・独自性を評価する） ※コンセプト本棚 10点満点 ※図書館・博物館と生涯学習 20点満点 ※生涯学習と街づくり 20点満点 | |
| ② | | | | | | | | | | | | |
| ③ | ✓ | | | | | | | | | | | |
| ④ | ✓ | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | | | | | （主体性）ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 （実行力）自分の意見をまとめたレポートの作成に積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）自分の意見をまとめたレポートの課題を発見し、修正することができる。 （創造力）学修の成果として、今後の生涯学習の在り方について独自の見解をもつことができる。 （発信力）自らの意見を、相手に伝わる工夫をして記述したり発表したりできる。 （傾聴力）他の発言を真摯に受け止めるアクティブ・リスニングができる。 （規律性）無断遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | | | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | | | | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|--|
| <p>A (優)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の定義等について小テストで8点以上。 ・自分の意見を踏まえ、分かりやすいレポートを作成することができる。 ・各種情報を分析した上で自分の意見をまとめ、分かりやすいプレゼンテーションによって、聞き手を惹き付けることができる。 <p>S (秀)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記A基準を上回る内容であればSとする。 | <p>B (良)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の定義等について小テストで7点以上。 ・分かりやすいレポートを作成することができる。 ・自分の意見をまとめたプレゼンテーション資料を作成し、発表できる。 <p>C (可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の定義等について小テストで6点以上。 ・レポートを作成することができる。 ・プレゼンテーション資料を作成することができる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|--|--|---|-------|---|
| 1 | ・オリエンテーション 授業概要、授業のルール・評価方法を理解する。 ・生涯学習の定義 生涯学習とは何かについて考える。 | ・講義 ・演習及びグループワーク ・PCやスマートフォンを用いて調べ学習をする。調べた語句を「オリジナル辞書」としてPCフォルダに蓄積していく。(以下同じ) | ・生涯学習の定義について、整理しワークシートに記述できる。 | (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 2 | 生涯学習と社会教育の歴史Ⅰ 社会教育の創始期(明治～戦前)について知る。 | ・講義 ・演習及びグループワーク | ・社会教育の創始期(明治～戦中)について、整理しワークシートに記述できる。 | (予習) 居住地の自治体でどのような社会教育が行われているか、広報誌などで確認しておく。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 3 | 生涯学習と社会教育の歴史Ⅱ 社会教育の展開期と停滞期(戦中～昭和末)について知る。 | ・講義 ・演習及びグループワーク | ・社会教育の展開期と停滞期(戦中～昭和末)について、整理しワークシートに記述できる。 | (予習) 生涯学習の歴史について文献から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 4 | 生涯学習と社会教育の歴史Ⅲ 生涯学習の展開期(平成～現在)について知る。 | ・講義 ・演習及びグループワーク | ・生涯学習の展開期(平成～現在)について、整理しワークシートに記述できる。 | (予習) 生涯学習の歴史について文献から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。小テスト対策の総復習をする。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 5 | 図書館と生涯学習Ⅰ 私のコンセプト本棚① | ・小テスト(1～4週の内容) ・講義 ・演習及び個人ワーク | ・小テストで、6点以上取れる。(語句の説明など第1～4週の内容が理解できているか確認する) ・「シェア本棚」を意識して、自らの読書遍歴を確認する。 | (予習) 小テストの想定問題を予想し、理解してくる。 (復習) 小テストの内容を復習しポイントをまとめておく | 180 | 主体性 実行力 創造力 発信力 規律性 |
| 6 | 図書館と生涯学習Ⅱ 私のコンセプト本棚② 生涯学習に関連する図書館の役割等について知る。 | ・前週の小テストについて口頭とコメント記載によるフィードバック ・グループ内で成果発表をする | ・「シェア本棚」を意識して、自らの読書遍歴をグループ内で発表できる。 | (予習) PP資料を作成しておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 7 | 図書館・博物館と生涯学習Ⅰ 図書館・博物館のKPT 生涯学習に関連する図書館・博物館の実践事例について知る。 | ・演習及びグループワーク 発表資料、発表原稿作成 | ・生涯学習に関連する図書館・博物館の役割や資料配置などについて、整理しワークシートに記述できる。 ・近隣の公共図書館・博物館における生涯学習の事例を調べ、発表資料づくりに協力できる。 | (予習) 生涯学習に関連する資料について文献等から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 8 | 図書館・博物館と生涯学習Ⅱ 図書館・博物館のKPT 生涯学習に関連する図書館・博物館の実践事例について知る。 PPを使ったプレゼンテーションの準備をする。 | ・発表資料、発表原稿完成 ・発表資料は、PCのプレゼンテーションソフトを用いる。 | ・近隣の公共図書館・博物館における生涯学習の事例を調べ、発表資料と発表原稿作成に協力できる。 | (予習) 発表資料充実のため、調べ学習をする。 (復習) 発表に向けて、予行練習をする。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|---|--|--|-------|---|
| 9 | 図書館・博物館と生涯学習Ⅲ 図書館・博物館のKPT発表(プレゼンテーション) グループごとに発表する。聴く側は長所を評価し、ものの見方考え方を広める。 | ・発表と評価 分かりやすく発表する。発表をよく聞きとり、的確な感想を述べる。 ・発表について口頭とコメント記載によるフィードバック | ・発表することができる。 ・他の発表を聴くことができる。 | (予習) 聞き手に分かりやすい発表に向けて準備をする。 (復習) 発表内容を修正する) | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 10 | 生涯学習とまちづくりⅠ 生涯学習を通じた地域との関わり方について、実践事例から考える。「私たちの考えるまちづくり～生涯学習の推進～」をテーマに、グループで内容の充実を図る。 | ・講義 ・演習及びグループワーク | ・生涯学習を通じた地域との関わり(まちづくり活動)について、整理しワークシートに記述できる。 | (予習) 生涯学習の実践について文献等から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 11 | 生涯学習とまちづくりⅡ 生涯学習を通じた地域との関わり方について、実践事例から考える。「私たちの考えるまちづくり」の企画書作成 | ・講義 ・演習及びグループワーク ・企画書は、PCのプレゼンテーションソフトを用いてもよい。 | ・生涯学習を通じた地域との関わり(まちづくり活動)について、整理しワークシートに記述できる。 ・企画書作成で意見を述べるができる。 | (予習) 生涯学習の実践について文献等から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) ワークシートの内容を復習し、本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 12 | 生涯学習とまちづくりⅢ 生涯学習を通じた地域との関わり方について、実践事例から考える。「私たちの考えるまちづくり」企画書完成 | ・講義 ・演習及びグループワーク | ・生涯学習を通じた地域との関わり(まちづくり活動)について、整理しワークシートに記述できる。 ・企画書作成で意見を述べることができる。 | (予習) 生涯学習の実践について文献等から理解してくる。詳細は授業内で説明する。 (復習) 発表に向けて予行練習をする。 | 180 | 主体性 実行力 創造力 規律性 |
| 13 | 生涯学習とまちづくりⅣ 発表(プレゼンテーション) | ・「私たちの考えるまちづくり」の企画を、グループごとに発表する。 ・聴く側は、発表の長所を評価し、ものの見方、考え方を広める。 | ・発表に参加できる。 ・発表を聴き、適切な評価ができる。 | (予習) 発表の準備をしておく。 (復習) ワークシートの内容を復習し本週のポイントをまとめておく。 | 180 | 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 |
| 14 | 私の生涯学習設計Ⅰ レポート作成に向けた資料収集 | ・事例を紹介しつつ、自らの生涯学習の在り方について、自身の見解をまとめさせる。 ・思考が停滞したらNotebookLMで活性化する。 | ・これまでの学修成果を自らの人生に着地(グラウンディング)させることができる、 | (予習) これまでのポートフォリオを見返しておく。 (復習) 次回のレポート作成の準備をしておく。 | 180 | 主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 |
| 15 | 私の生涯学習設計Ⅱ 自身の生涯学習設計についてレポートを完成する。 | ・これまでの授業を踏まえ、個人として今後、まちづくりに参画する方策をレポートにまとめる。 | ・字数制限を守り、相手に伝わるレポートづくりを工夫できる。 | (予習) レポート内容充実のため、情報を集める。 (復習) レポートを完成する。 | 180 | 主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力